

私の決断

第2回

人生で最も重要な瞬間、それは決断の時である。「新規事業の立ち上げ」「脱サラ」「リストラの断行」「事業撤退」「倒産」など、人はさまざまな人生の岐路で決断を強いられる。どのような思いで決断したのか。当事者に決断に至った経緯、葛藤も含めて赤裸々に語ってもらおう。

会社が事業化を拒否

前職の大手レコード会社では、コンサートなどで使うPA(音響拡声装置)の音を、より遠くまで届くことができるようにするスピーカーの開発プロジェクトを担っていました。その過程で、あるスピーカーについて難聴の方がすごく音が聴きやすいとおっしゃってくれました。難聴なのに、なぜ聴きやすいのか。実は父も祖母も難聴だったこともあり、聞こえやすい音とは何か、ぜひとも突き止

めなくてはいけないと思いました。そして、音響リサーチで音を組み合わせているうちに、難聴者に聴き取りやすい音質を突き止めることができました。アンケートの形で難聴者の方に試験を実施したところ好評でした。会社には「難聴に苦しみ、高齢者や障害者がずっと音楽を聴き続けられる環境をつくることも大事ではないですか」と、難聴者向けスピーカーの事業化を提案しました。でも、返ってきたのは「何で

そんなことをレコード会社がするんだ」というにべもない回答でした。世の中に必要なことだが、人が助かると言っても、それを事業化できないとすれば、いったい、何のための企業なのでしょう。正しいことでも物事が前に進まないのは、会社のお金をあてにしているからだ。ならば、借りてでも、自分の金でやればいいと、そのとき気づいたので。

人を助けるのがビジネス

難聴の方でも音を聴き取れるスピーカーを開発したいと声をあげたら、友人たちが協力を申し出てくれたので、2009年にNPO法人を設立しました。

まだ研究開発中の段階でしたが、その後、NHKの番組で取り上げられました。そうしたら、「ぜひ、欲しい」、「いつ製品化するのか」という問い合わせが殺到したのです。商品化しても絶対に成功すると思いきや、事業化を決意。12年に会社を立ち上げ、卓上型対話支援システム「comuon(コミュニケーション)」の開発に至ったのです。

話す側の音を変えようというシステムは、それまで、誰も考えつきませんでした。私は、誰も気づいていないことに目を向けるのも経営者の大事な責務だと思っています。

コミュニケーションを使って父親と会話した難聴の少女は「初めてお父さんと補聴器なしで話すことができました」と涙してくれました。また、会話が成り立たないために、認知症が疑われていた高齢の女性は医師と会話ができるようになりました。日々、こうした感動の連続です。これが、難聴の方のためにさらに良いスピーカーをつくりたいという思いを後押ししてくれます。

決断力

介護道 経営



社会に必要な事業だから独立を決意

レポート

ユニバーサル・サウンドデザイン株式会社

対話支援機器の開発で最優秀賞を受賞

対話支援機器の開発・販売を手がけるユニバーサル・サウンドデザイン株式会社(東京都港区)は、昨年12月14日、新規ビジネスで市場開拓をめざすスタートアップ企業のビジネスコンテスト「モーニングピッチ年未拡大版」(Morning Pitch Special Edition 2017)において、最優秀賞を獲得した。

「モーニングピッチ」は、ベンチャー支援を行うドイツトーマツベンチャーサポート株式会社と野村證券株式会社が毎週主催するイベント。大企業やビジネスキャピタルとの事業提携をめざすベンチャー企業が

と評価されたベンチャー企業8社が最優秀賞を競った。

受賞対象となったのは、同社が開発した対話支援機器「comuon(コミュニケーション)」。コミュニケーションは、声を大きくしなくても話し手の声を聞き手にクリアに届けることができる卓上型スピーカーシステムで、高齢者や難聴者のコミュニケーションを支援する。声が聞き取りにくい会話やスムーズにいかない高齢者が認知症と誤診されるケースもあるといい、コミュニケーションはそうした問題を解決することで、高齢者のQOL改善にも寄与する。すでに多くの医療機関、行政窓口、ろう学校、一般企業などに導入され、効果を上げている。

2018.2 地域介護経営 介護ビジョン 74

卓上型対話支援システムを開発した

中石 真一路

ユニバーサル・サウンドデザイン株式会社

なかishi・しんいちろう●1973年東京都生まれ、熊本県育ち。熊本YMCA専門学校卒業後、東京デジタルハリウッド大学に入学。卒業後は12年間にわたり、webプロデューサーとして大手企業のwebサイト立ち上げに従事。QRコードを携帯に導入した実績を持つ。独立後、約3年に及ぶ研究の末、卓上型対話支援システム「コミュニケーション」を開発。2012年4月、ユニバーサル・サウンドデザイン株式会社を設立



Morning Pitch年未拡大版でプレゼンを行う中石真一路代表取締役社長

自社のビジネスモデルのプレゼンを行う機会を提供する。その特別イベントとして開かれた年末特別版では、昨年1年間に特に優れた技術を持つ

は、昨年1年間に特に優れた技術を持つ